令和３年度　平洲中学校経営方針

１　教育目標

（１）　本校の教育目標

【　校　　訓　】	自　　学	礼　　節	先　　施
【めざす生徒像】	目的をもって 自ら学ぶ生徒	礼節をわきまえ 他を思いやる生徒	先施の心で 実践できる生徒

（２）　経営方針

全校生徒，教職員一人一人が一丸となり，「先施の心日本一」の学校を目ざした教育活動を全力で推進する。「先施の心」を校訓の柱にとし，本校の教育方針である「自ら学び，考え，行動する生徒の育成」を推し進め，「生徒自らが行う進路設計」を全教職員で支援する。

【校訓】・・・「自学」　「礼節」　「先施」

⇩

「先施の心日本一」の学校を目ざした教育活動を全力で推進

教育方針　「自ら学び，考え，行動する生徒の育成」

⇩

【目標】：中学校３年間で生徒自らが行う進路設計

（３）　本年度の重点努力目標

ア　先施の心育てから活気にあふれる学校づくりを推進する。

①校訓「礼節」を基本にした気持ちのよい挨拶，規律ある授業を実践する。

②「特別の教科道徳」を充実させ，正しい価値観で行動できる生徒の育成，心遣いや思いやりにあふれる生徒の育成を日々の教育活動で実践する。

③積極的な体験活動の推進を通して，自らを高め，「先施の心」を体感する。

・ボランティア活動の推進をする。（校内･校外･地域･読み聞かせ･社会福祉活動）

④生徒会活動等を核にリーダーの育成とともに活気にあふれる学校づくりを行う。

・自治活動の中で「学校生活」や「校則」を見直し，自己肯定感や愛校心を育成する。

・「平洲中祭」を柱に学校学年行事での系統的なリーダー育成をする。

・縦割り活動を柱にリーダー・フォロアーとして学び合ういじめのない学校づくりをする。

⑤教職員自ら率先垂範・師弟同行の精神で，常に笑顔で元気あふれる模範となる。

イ　「生きる力」を育み，新しい時代に必要となる資質･能力の育成を図る。

①「主体的･対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善を実践する。

・ＧＩＧＡスクール構想の実現に向け，ＩＣＴ機器の利用を促進し，学びを深める。

②生徒が自学のできる学習環境づくりの充実を図る。（家庭学習の充実）

③ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を組み入れ，生徒がわかる・できる喜びを感じる教育の場の充実を図る。（授業のねらい，教室環境，困り感への声かけなど）

ウ　「生徒自らが行う進路設計」を支援する発達段階に応じた個の指導の充実を図る。

①生徒一人一人が，自信をもって進路設計ができるよう，生徒の成長段階に合わせ，計画的・系統的にキャリア教育の推進をする。

・進路学習，対話集会，相談活動，情報提供等，地域との連携・協力を拡充する。

②生徒一人一人に，どのような資質・能力の育成を図るかを考え，心に寄り添う生徒指導を行い，生徒が安心できる環境を整える。

③発達段階に応じた資質･能力の育成する視点に立ち，特別支援教育を核に据えた個への指導の推進を図る。

エ　「チーム平洲」としての連携を推進する。

①「チーム平洲」として，職員間や小中間の組織的連携を重視するとともに，保護者や地域，各機関等との素早い連携を図る。

②学校ホームページやたよりを活用して，教育活動の様子やその成果を継続的に情報発信し，家庭や地域との信頼関係や協働体制を築く。

③生徒の心身の健康のために職員の健康を意識した質の高い働き方改善を進める。